

拝啓 陽春の候、貴台におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

この度は、「相馬市教育復興子育て基金」に温かいご支援を賜りましたこと、市民を代表いたしまして御礼申し上げます。

震災から五年目を迎えました。本市の子どもたちは将来の夢や目標を持ち、その実現に向けて前向きに力強く努力を続けております。これも、貴台をはじめ多くのの方々のご支援があつてのことと心より感謝しております。

いただいたご厚意は、将来の相馬市のさらなる復興の原動力となる子どもたちの教育のため、有効に活用させていただいております。一部ではありますが活用の様子をご報告させていただきますので、ご覧いただければと存じます。

本来ご拝顔にて御礼を申し上げますところですが、書面にて失礼いたします。ご自愛專一に健やかにお過ごしください。

敬具

平成二十七年三月吉日

長尾クリニック 様

大変お世話になっております。お陰様で

三月をこえて公営住宅の戸完成です。

相馬市長 吉岡あき晴



相馬市教育復興子育て基金を活用した様子 ～皆様の善意により、子どもたちは素晴らしい環境の中で学習に取り組んでいます～

1. 文化芸術による「心の復興」事業補助金（エル・システム事業）



週末子どもオーケストラでは、市内の小中学生が世界中から外部講師を迎え、音楽を学んでいます。（市内小中学生）



プロの音楽家を学校に招いて、子どもたちの目の前で、生の音での演奏会を開催しています。（飯豊小学校）

2. 教育支援事業補助金



教職員は、秋田県大仙市への研修視察を通して、先進校の学力向上の取組を学んでいます。（中村第一中学校）

3. 被災中学校 ICT 機器リース事業



理科の授業では、iPad を活用して化学変化の仕組みをまとめ、グループで話し合いながら学習しています。（中村第二中学校）